

NY マーケットレポート (2015年5月15日)

NY 市場では、序盤に発表されたニューヨーク連銀指数が予想を下回ったことや、米鉱工業生産が予想に反してマイナスとなり、5 ヶ月連続のマイナスとなったことを受けて、ドルは序盤から軟調な動きとなった。また、ミシガン大学消費者信頼感指数が、昨年10月以来 7 ヶ月ぶりの低水準となったことも加わり、ドルは大半の主要通貨に対して下落する動きとなった。クロス円は、序盤に堅調な動きも見られたものの、欧米の株価が軟調な動きとなったことから、やや上値の重い動きとなった。ただ、ユーロは主要通貨に対して堅調な動きとなり、ユーロ/円は1月22日以来、ユーロ/ドルは26日以来の高値を付ける動きとなった。

2015/5/15 (金)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	119.47	119.59	119.17
EUR/JPY	135.99	136.36	135.86
GBP/JPY	188.25	188.62	187.97
AUD/JPY	96.03	96.44	95.93
EUR/USD	1.1386	1.1421	1.1372

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	119.93	119.46
EUR/JPY	136.27	135.70
GBP/JPY	188.60	188.08
AUD/JPY	96.11	95.81
EUR/USD	1.1401	1.1329

*LD高安は東京クローズ~NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	19732.92	+162.68
ハンセン指数	27822.28	+535.73
上海総合	4308.69	-69.62
韓国総合指数	2106.50	-13.83
豪ASX200	5735.50	+38.93
インドSENSEX指数	27324.00	+117.94
シンガポールST指数	3463.10	+7.32

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6960.49	-12.55
仏CAC40	4993.82	-35.49
独DAX	11447.03	-112.79
ST欧州600	396.45	-1.54
西IBX35指数	11317.30	-81.40
伊FTSE MIB指数	23473.46	-75.13
南ア 全株指数	54028.17	+153.58

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	119.36	119.93	119.20
EUR/JPY	136.58	136.81	135.71
GBP/JPY	187.70	188.56	187.69
AUD/JPY	95.90	96.18	95.77
NZD/JPY	89.17	89.41	88.96
EUR/USD	1.1444	1.1467	1.1324
AUD/USD	0.8035	0.8063	0.7996

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18272.56	+20.32
S&P500	2122.73	+1.63
NASDAQ	5048.29	-2.50
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	15108.12	+80.00
🇧🇷 ボルサ指数	45332.80	+61.34
🇨🇦 ボベスパ指数	57248.63	+592.06

5/18 経済指標スケジュール

08:01	【英】5月ライトムーブ住宅価格
08:50	【日】3月機械受注
09:30	【シンガポール】4月輸出
09:30	【シンガポール】4月電子機器輸出
10:30	【豪】4月新車販売台数
13:00	【日】4月首都圏新規マンション発売
13:30	【日】3月鉱工業生産
13:30	【日】3月稼働率指数
13:30	【日】3月第三次産業活動指数
16:15	【スイス】3月実質小売売上高
23:00	【米】5月NAHB住宅市場指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1225.30	+0.10
NY 原油	59.69	-0.19
CMEコーン	365.50	-2.50
CBOT 大豆	953.25	-3.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.54%	0.54%
3年債	0.90%	0.92%
5年債	1.46%	1.51%
7年債	1.87%	1.95%
10年債	2.14%	2.24%
30年債	2.93%	3.07%

5/18 主要会議・講演・その他予定

- ・欧州議会本会議 (~21日)
- ・シカゴ連銀総裁 講演

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 119.90 ユーロ/円 136.88 ユーロ/ドル 1.1333

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6995.73	+22.69	ダウ 先物ミニ	18229	+27
仏 CAC40	5043.27	+13.96	S&P 500 ミニ	2120.75	+3.25
独 DAX	11550.09	-9.73	NASDAQ 100 ミニ	4503.25	+13.00

(出所: SBILM)

21:00

◀ 経済指標の結果 ▶

3月ポーランド貿易収支 6億7400万 PLN (予想 7億4200万 PLN・前回 7億8000万 PLN)
前回発表の7億8300万 PLN から7億8800万 PLN に修正

3月ポーランド経常収支 19億3800万 PLN (予想 9億9800万 PLN・前回 2億2500万 PLN)
前回発表の1億1600万 PLN から2億2500万 PLN に修正



(出所: ブルームバーグ)

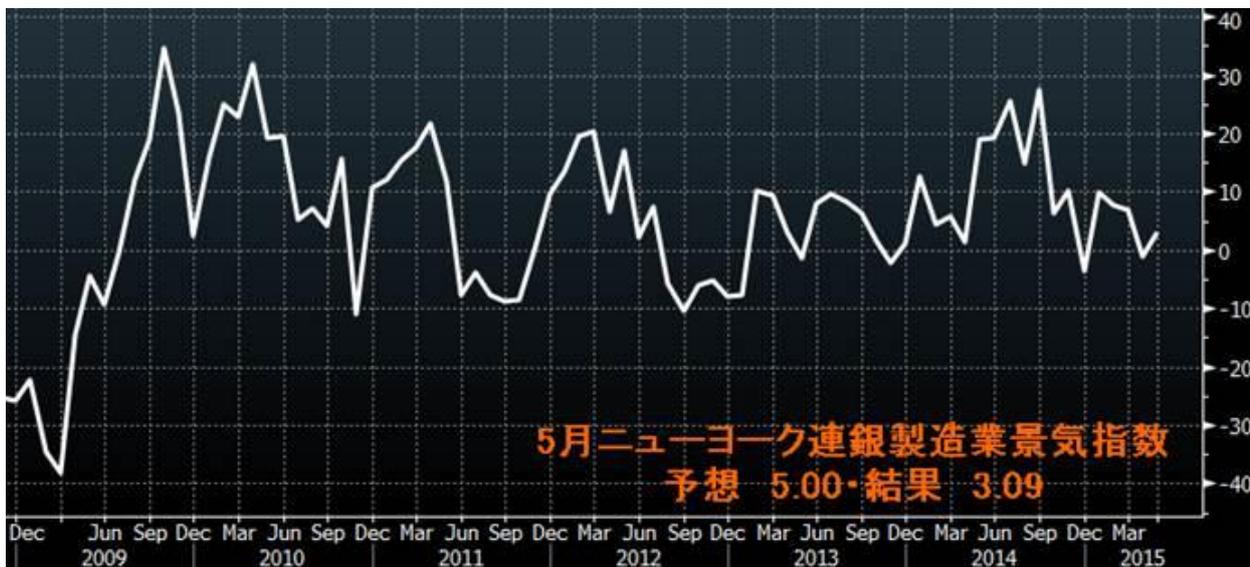


(出所：ブルームバーグ)

21 : 30

≪ 経済指標の結果 ≫

5月ニューヨーク連銀製造業景気指数 3.09 (予想 5.00・前回 -1.19)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

≪ N Y 連銀製造業景気指数 ≫

現状)

	5月	4月	3月	2月	1月	12月
業況	3.09	-1.19	6.90	7.78	9.95	-1.23
仕入価格	9.38	19.15	12.37	14.61	12.63	10.42
販売価格	1.04	4.26	8.25	3.37	12.63	6.25
新規受注	3.85	-6.00	-2.39	1.22	6.09	0.39
出荷	14.94	15.23	7.93	14.12	29.59	2.55
在庫	7.29	2.13	-5.15	-2.25	-7.37	-11.46
雇用者数	5.21	9.57	18.56	10.11	3.68	8.33

6ヵ月先の見通し)

	5月	4月	3月	2月	1月	12月
業況	29.81	37.06	30.96	25.58	48.35	39.31
仕入価格	26.04	38.30	31.96	26.97	33.68	40.63
販売価格	7.29	13.83	12.37	5.62	15.79	32.29
新規受注	33.94	33.57	26.31	28.61	41.44	38.85
出荷	31.75	32.38	28.71	30.34	40.57	37.75
在庫	3.13	5.32	-3.09	-4.49	1.05	9.38
雇用者数	16.67	22.34	28.87	24.72	31.58	20.83

同指標はゼロが景況の分岐を示す

21 : 30

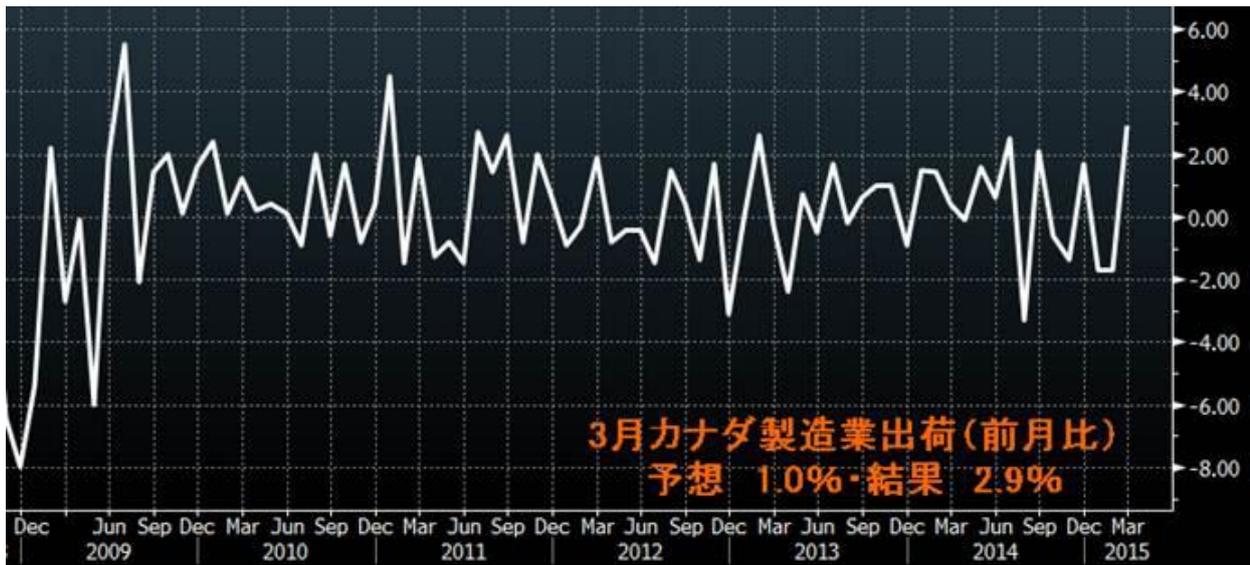
◀ 経済指標の結果 ▶

3月カナダ国際証券取扱高 225.0億CAD (前回 93.5億CAD)
 前回発表の92.7億CADから93.5億CAD

3月カナダ製造業出荷 (前月比) 2.9% (予想 1.0%・前回 -2.2%)
 前回発表の-1.7%から-2.2%に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

4月カナダ中古住宅販売件数(前月比) 2.3%(前回 4.1%)

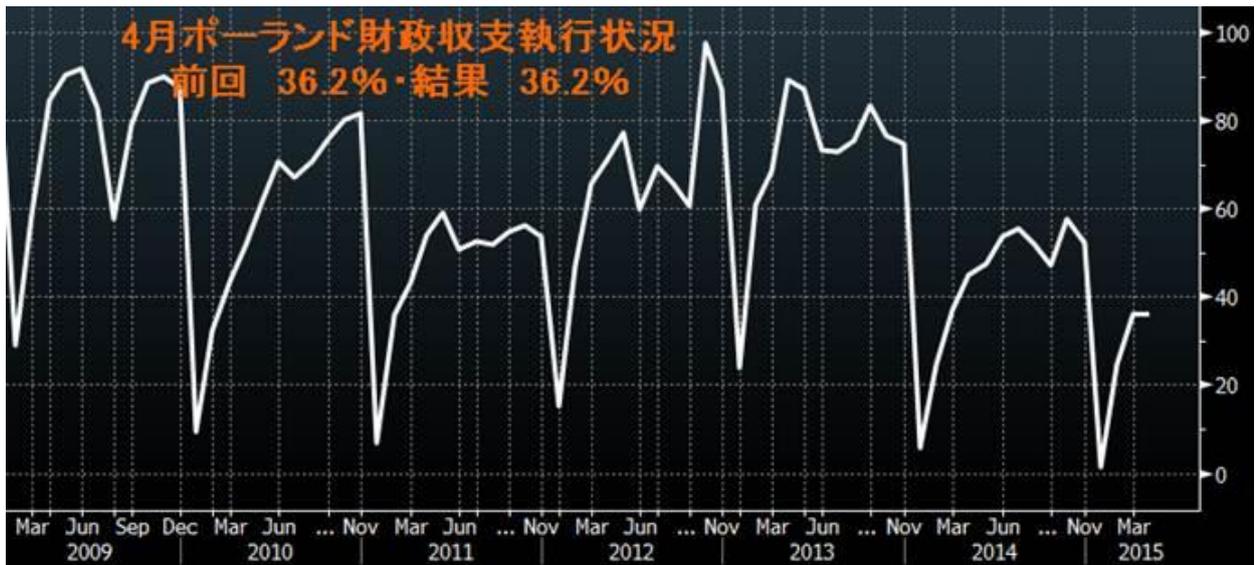


(出所：ブルームバーグ)

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

4月ポーランド財政収支執行状況 36.2%(前回 36.2%)



(出所：ブルームバーグ)

22 : 00

ロシアの1-3月期GDPは、前年同期比-1.9%（予想-2.6%）

《ポイント》

ロシア国家統計局が発表した暫定値では、1-3月期のGDPが前年同期比-1.9%となり、市場予想の-2.6%、ロシア経済省の-2.2%予想を上回る結果となったが、6年ぶりのマイナス成長となった。原油価格の急落や1998年のデフォルト以来最悪となった通貨ルーブル危機が圧迫要因となった。ウクライナをめぐる米国とEUとの対立が影響し、ロシアの成長は昨年に減速。ロシア政府はマイナス成長が3四半期続くとの見通しを示している。

22 : 15

《 経済指標の結果 》

4月米鉱工業生産（前月比） -0.3%（予想 0.0%・前回 -0.3%）

前回発表の-0.6%から-0.3%に修正

4月米設備稼働率 78.2%（予想 78.3%・前回 78.6%）

前回発表の78.4%から78.6%に修正



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

《米鉱工業生産・設備稼働率》

4月・3月・2月・1月・12月・11月

鉱工業生産・・・-0.3・・・-0.3・・・-0.1・・・-0.3・・・-0.1・・・1.1

製造業・・・0.0・・・0.3・・・-0.2・・・-0.6・・・0.0・・・1.2

鉱業・・・-0.8・・・-0.1・・・-2.1・・・-1.2・・・2.6・・・-0.5

最終製品・・・-0.5・・・-0.3・・・0.2・・・-0.3・・・-0.7・・・1.8

原材料・・・-0.2・・・-0.2・・・-0.3・・・-0.5・・・0.5・・・0.6

設備稼働率・・・78.2・・・78.6・・・78.9・・・79.2・・・79.5・・・79.8

製造業・・・77.2・・・77.3・・・77.2・・・77.4・・・78.0・・・78.1

鉱業・・・84.0・・・84.9・・・85.3・・・87.5・・・88.8・・・87.2

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	18260.51	+8.27
ナスダック	5061.66	+10.86

(出所: SBILM)

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

5月ミシガン大学消費者信頼感指数 88.6 (予想 95.9・前回 95.9)



(出所: ブルームバーグ)

経済指標データ

◀ ミシガン大学消費者信頼感指数 ▶

5月速報・4月・3月・2月・1月・12月

消費者信頼感・88.6・95.9・93.0・95.4・98.1・93.6

景気現況指数・99.8・107.0・105.0・106.9・109.3・104.8

消費者期待指数・81.5・88.8・85.3・88.0・91.0・86.4

1年インフレ・2.9・2.6・3.0・2.8・2.5・2.8

5年インフレ・2.8・2.6・2.8・2.7・2.8・2.8

23 : 30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、高値を警戒する売りが出る一方、欧米で長期金利の上昇が一服傾向にあることなどを好感した買いも入り、主要株価は序盤から売り買い交錯するもみ合いの展開が続いている。

◀ 海外の話題 ▶

ギリシャ財務省は、5月半ばの公務員給与の支払いを行ったと明らかにした。関係者によると、支払額は約5億ユーロ(約5億6700万ドル)。ギリシャの財政状況は厳しさが増しているものの、この日の支払いは問題なく行われる

と見込まれていた。ただ、今月終盤の公務員給与や年金の支払い、6月の債務支払いはより困難になると見られている。

《 経済指標のポイント 》

(1) 5月のニューヨーク連銀製造業業況指数は、市場予想の5.00を下回る3.09となったものの、4ヵ月ぶり前月比で上昇した。新規受注が数年来の低い水準から持ち直したことで、全体を押し上げた。

①構成指数では、新規受注が3.85(前月-6.00)と2013年1月以来の低水準だった前月から上昇、在庫は7.29(2.13)と前月から上昇したものの、仕入価格は9.38(19.15)と2012年7月以来の低水準に落ち込み、販売価格は1.04(4.26)、出荷は14.94(15.23)、雇用者数は5.21(9.57)、半年先の業況見通しは29.81(37.06)といずれも前月から低下した。

②当該指数は、ゼロが拡大と縮小の判断基準となり、米製造業の景況感を判断する統計の中で最も早く発表される指数のひとつ。

(2) 4月の米鉱工業生産は、市場予想の+0.1%に反して前月比-0.3%となり、5ヵ月連続のマイナスとなった。鉱工業生産は、昨年冬頃から低調さが目立っており、原油安を受け石油・ガスの掘削など鉱業関連の減速が続いているほか、製造業も勢いを欠いた。

①製造業は前月比横ばいとなり、主力の自動車・同部品が+1.3%と耐久財生産が伸びる一方、食品などの非耐久財が減少して相殺した。鉱業は-0.8%と4ヵ月連続のマイナス、電力・ガスも-1.3%となった。

②設備稼働率は、前月比-0.4ポイント低下の78.2%と、市場予想の78.4%を下回り、昨年1月以来1年3ヵ月ぶりの低水準となった。

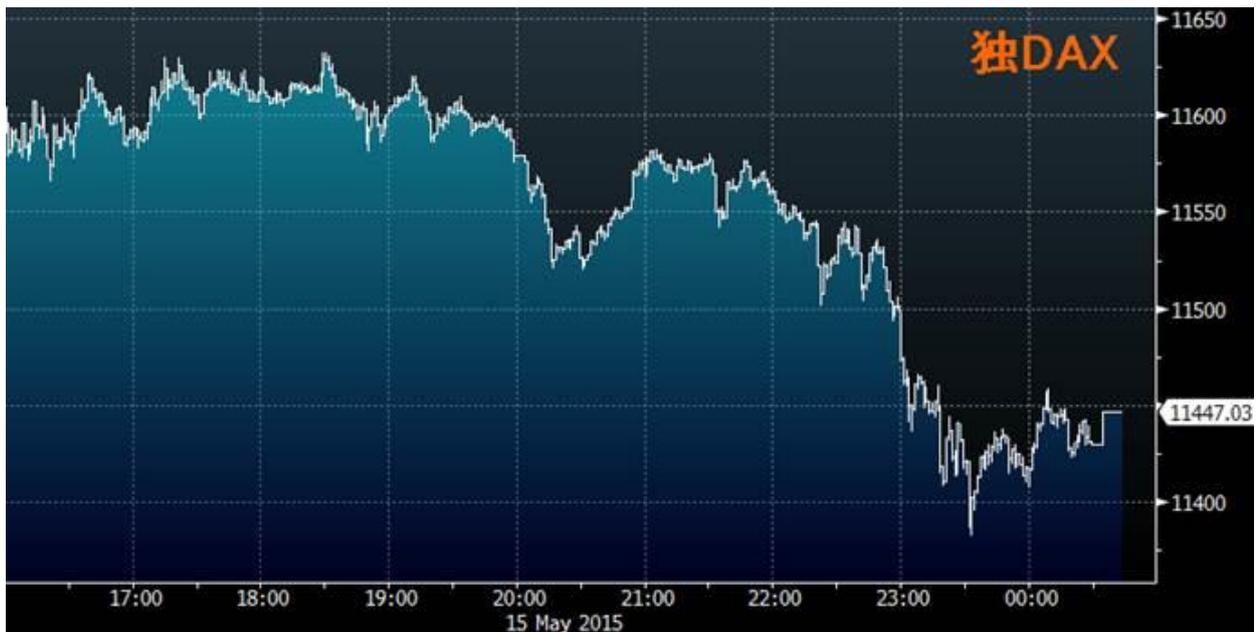
(3) 5月の米シガン大学消費者信頼感指数の速報値は、市場予想の95.9を下回る88.6となり、4月の確報値から7.3ポイント低下し、昨年10月以来7ヵ月ぶりの低水準となった。現状指数は99.8(4月確報値107.0)と確報値から7.2ポイント低下、期待指数は81.5(88.8)と7.2ポイント低下、1年後のインフレ期待は2.9%(2.6%)で0.3ポイント上昇した。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6960.49	-12.55
仏 CAC40	4993.82	-35.49
独 DAX	11447.03	-112.79
ストック欧州 600 指数	396.45	-1.54
ユーロファースト 300 指数	1573.09	-8.34
スペイン IBEX35 指数	11317.30	-81.40
イタリア FTSE MIB 指数	23473.46	-75.13
南ア アフリカ全株指数	54028.17	+153.58

(出所: SBILM)

《 欧州株式市場 》

欧州株式市場は、序盤は堅調な動きとなったものの、米経済指標が悪化したことを受けて、米国の景気先行き不安が台頭したことを受けて、主要株価は軟調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 18232.29 (-19.95)、S&P500 2118.96 (-2.14) ナスダック 5041.46 (-9.33)

≪ NY 債券市場 ・ 午前 ≫

序盤のニューヨーク債券市場は、4月の米鉱工業生産指数が5ヵ月連続で低下したほか、ミシガン大消費者信頼感指数も市場予想を下回ったことから米景気の先行き懸念が広がり、長期債を中心に安全資産とされる米国債の買いが先行した。

午前の利回りは、30年債が2.96%（前日3.06%）、10年債が2.17%（2.23%）、7年債が1.90%（1.91%）、5年債が1.48%（1.51%）、3年債が0.91%（0.92%）、2年債が0.55%（0.54%）。

3 : 40

NY金は、中心限月が前日比0.10ドル高の1オンス=1225.30ドルで取引を終了した。

4 : 35

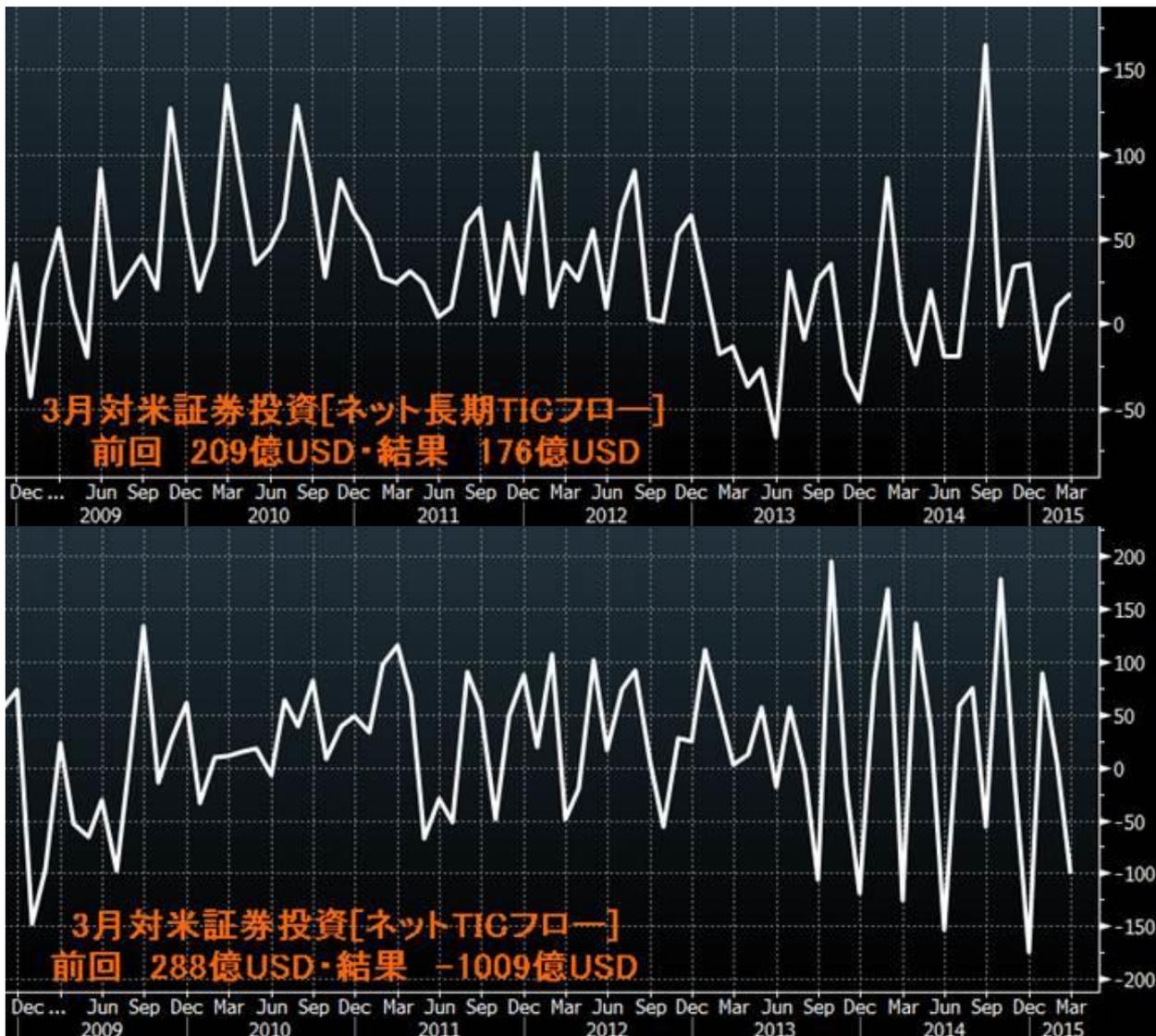
NY原油は、中心限月が前日比0.19ドル安の1バレル=59.69ドルで取引を終了した。

5 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

3月対米証券投資[ネット長期TICフロー] 176億USD（前回 209億USD）
前回発表の98億USDから209億USDに修正

3月対米証券投資[ネットTICフロー] -1009億USD（前回 288億USD）
前回発表の41億USDから288億USDに修正



(出所：ブルームバーグ)

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1225.30	+0.10
NY 原油	59.69	-0.19

(出所：SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

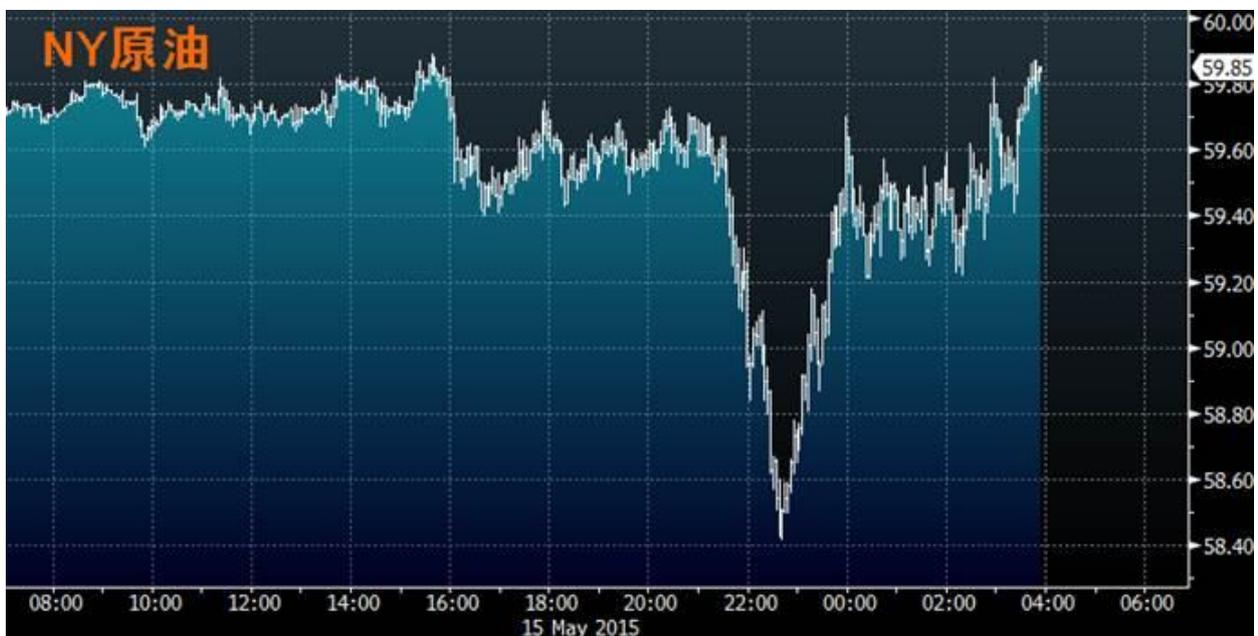
NY金は、米鉱工業生産やミシガン大学消費者景況感指数がともに市場予想を下回ったことを受けて、米早期利上げ観測が後退したことから、金を買う動きが優勢となった。ただ、前日に3ヵ月ぶりの高値を付けたことから利益確定の売りも出やすく、やや上値は限定的となった。



(出所：ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、米経済指標が軒並み悪化したことや、1バレル当たり60ドル台に回復したことで、生産拡大につながり、世界的な供給超過が長期化するとの見方から売りが優勢となった。ただ、ドルが主要通貨に対して下落したことで、ドル建て原油の割安感から買いも入り、下げ幅は限定的となった。



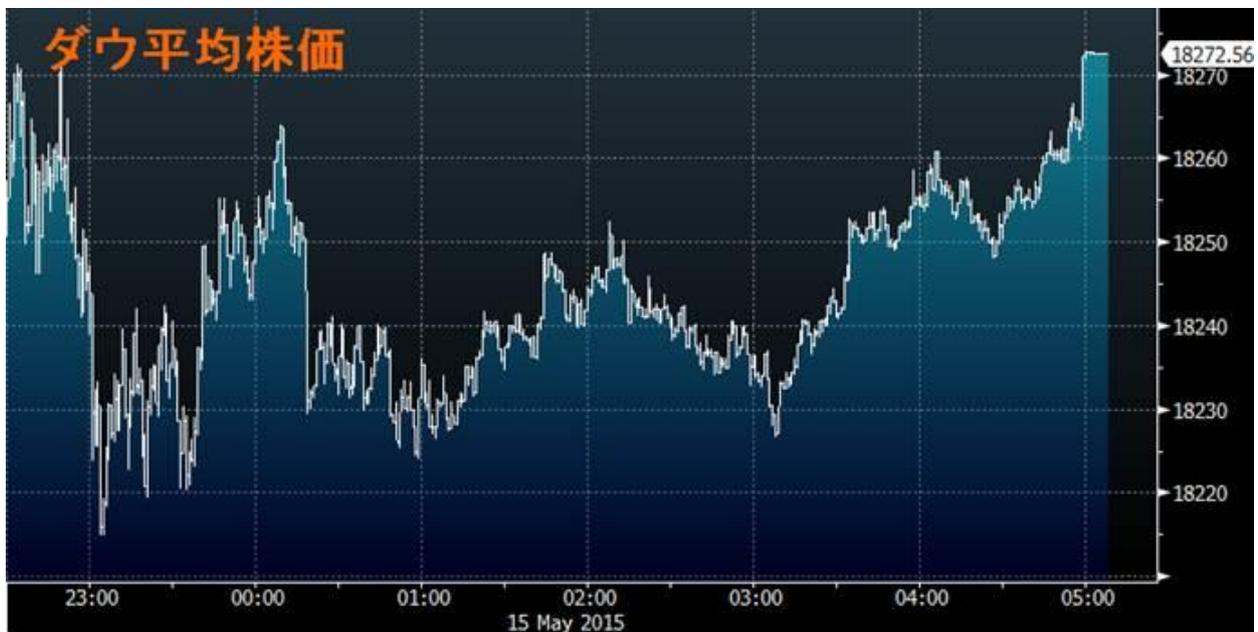
(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	18272.56	+20.32	18272.72	18215.07
S&P500 種	2122.73	+1.63	2123.89	2116.79
ナスダック	5048.29	-2.50	5062.65	5034.84

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、高値を警戒する売りが出る一方、欧米で長期金利の上昇が一服傾向にあることなどを好感した買いも入り、主要株価は序盤から売り買い交錯するもみ合いの展開となった。そして、米国の経済指標が軒並み悪化したことから、上値の重い展開が終盤まで続いた。



(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	119.36	119.93	119.20
EUR/JPY	136.58	136.81	135.71
GBP/JPY	187.70	188.56	187.69
AUD/JPY	95.90	96.18	95.77
NZD/JPY	89.17	89.41	88.96
EUR/USD	1.1444	1.1467	1.1324
AUD/USD	0.8035	0.8063	0.7996

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の経済指標が軒並み悪化したことを受けて、ドルが主要通貨に対して下落となった。クロス円は堅調な動きとなったものの、欧米の株価が軟調な動きとなったことから、その後はやや上値の重い動きが続いた。ただ、ユーロは主要通貨に対して堅調な動きとなり、対円でも終盤まで堅調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。